

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **747** January 2021

大原社会問題研究所雑誌

747 2021.1

Special Issue : Development of Rivers and Reactions in Communities

- Introduction to the Special IssueHIRANO Izumi, SHIMIZU Yoshihito
 Yamba Dam : 68 Years of History and Unsolved ProblemsWATANABE Yoko
 The Disappearance of Community due to Tokuyama Dam Construction and
 Un-utilized Water: Questioning the Necessity of the Dam based on
 Trial Documents of the Movement against the Dam Construction
KAWATA Kyoko
 The River Development and Mountain Villages from the 1920s to the 1950s
HASEGAWA Tatsuro

Article

- A Career-Path Analysis on Director of Public Assistance Division of Ministry of
 Health and Welfare (Ministry of Health, Labour and Welfare) KONDO Takaaki

Book Reviews

- MUGIKURA Yasuko, *What is INSTITUTION?: Interpreting Disabilities
 and Cares from Life Stories*..... MAEDA Takuya
 UCHIKOSHI Masayuki, *Delinquent Youth in Okinawa*.....SUGITA Mai

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting SHIBUYA Noriko

The Institute's Activities in September 2020

【特集】河川開発と地域社会

- 特集にあたって 平野 泉・清水善仁 1
 ハッ場ダム
 ——68年の経緯と山積する未解決の問題 渡辺洋子 5
 消えたふるさと、使われない水
 ——徳山ダム建設反対運動裁判資料からダムの必要性を問い直す 川田恭子 27
 1920-50年代の河川開発と山間村落
 ——兵庫県宍粟郡の事例から 長谷川達朗 44

■論文

- 厚生(厚生労働)省保護課長のキャリアパス分析 近藤貴明 64

■書評と紹介

- 麦倉泰子著『施設とは何か』 前田拓也 88
 打越正行著『ヤンキーと地元』 杉田真衣 93

社会・労働関係文献月録 98

月例研究会 渋谷典子 102

所報 2020年9月 103

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体926円+税)
 年間購読 12,000円(税込)

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2020年版 第90集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

【序章】 政治・経済の動向と労働問題の焦点

＜特集1＞ 『日本労働年鑑』の100年

—時代を反映した構成の推移

＜特集2＞ 社会保障制度とその財源

—格差縮小による経済成長と
財政赤字のもとでの社会保障
財源の確保

【第1部】 労働経済と労働者生活

【第2部】 経営労務と労使関係

【第3部】 労働組合の組織と運動

【第4部】 労働組合と政治・社会運動

【第5部】 労働・社会政策

＜付録＞ 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)

アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・544頁

70th ANNIVERSARY 旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.725 2020年12月号

定価 852円+税 年間購読 11,244円(税込)

特集「変化する管理職の役割と地位」

- 提言 管理職はどう決める? 八代 充史
 - 論文 管理職の役割の変化とその課題——文献レビューによる検討 坂爪 洋美
 - 日・米・中の管理職の働き方——ジョブ型雇用を目指す日本企業への示唆 久米 功一
 - 中村 天江
 - 両角亜希子
 - 佐藤 香織
 - 竹ノ下弘久
 - 田上 皓大
 - 沼田 雅之
 - 田中 宏和
 - 小林 廉毅
 - 奥井めぐみ
 - 垂見 裕子
 - 安達 智子
 - 日原 雪恵
 - 山下 順子
- 大学上級管理職の経営能力養成の現状と今後
管理職への昇進の変化——「遅い昇進」の変容とその影響
管理職昇進をめぐる男女間不平等と国際比較——労働市場と福祉国家
- 雇用環境の変化と管理監督者——スタッフ職の管理監督者性を中心に
管理職の健康——他職種との比較、時代的変遷、今後の課題
- 研究ノート(投稿) 育児休業取得期間が復帰後の女性の仕事満足度に与える影響
 - 書評 多喜弘文 著『学校教育と不平等の比較社会学』
尾形真実哉 著『若年就業者の組織適応』
 - 論文Today 労働基準に関する法における精神的ハラスメント規定の改正
 - フィールド・アイ 「拍手」で伝えるケア労働者への感謝? (プリストルから①)
 - 発表 第43回(令和2年度)労働関係図書優秀賞/第21回(令和2年度)労働関係論文優秀賞

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2020年11月号
75巻11号

11

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

【特集】倫理と社会的責任 働くことの未来・持続可能な社会(2)

- ◆ 巻頭言＜俯瞰＞生産者と消費者がつながり、喜び合う関係をつくる ……大信政一
- ◆ 働くことの意味を問い直す——社会的なつながりのなかで ……武田晴人
- ◆ 持続可能な社会と企業サステナビリティ——企業を取り巻く環境の変化の視点から ……出見世信之
- ◆ 産業保健活動のあり方と倫理 ……堀江正知・永野千景
- ◆ これからの科学者の社会的責任 ……藤垣裕子
- ◆ AIとルール——マルチステークホルダー・プロセスの意味するもの ……大屋雄裕
- ◆ 研究者倫理とこれからの研究活動の課題 ……青木和夫
- ◆ 産業安全で技術者が問われていること ……中村昌允
- ◆ 新しい公共サービスを支える協働を担うもの——公共性の職業倫理と市民倫理 ……菅原敏夫
- ◆ 診察室から見える職業病の課題——不可視化による不正を克服するために ……毛利一平

〒151-0051 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: http://www.isl.or.jp/